

・・・ 太平洋戦争と国家総動員法による商業科の転科 ・・・

<敬称略>

年号	年	西暦	月	日	学 校 記 事	社会事象	
昭	11	1936	2	-	豪雪により校舎被害(復旧費1,339円) 1月末～2月初旬 信越・北陸両線で至る所で脱線・立往生	<昭和11年> ・2.26事件 ・日独防共協定調印(11月)	
				3	14		第20回卒業式(卒業生:商45、木工8、漆工2)
				31	新校長小川延賢就任		
			6	22	校内新築工事起工		
			9	18	満州事変5周年記念日につき、市内各中学校・青年学校生約 4千名による演習に参加		
				28	中根式速記講習会(講師:中根正世)		
			10	30	教育勅語換発46周年につき、奉読式		
			11	3	明治節拝賀式 生徒製作品展覧会(商業科は模擬店設置で実習販売)		
		14	4・5年生、高田師範学校での孔子祭に参列				
	和	12	1937	1	11	猛烈吹雪のため、列車通学生を植木旅館に宿泊させる この年1・2月、昭和2年を想起させる豪雪	<昭和12年> ・日華事変/日中戦争開戦(7月) ・日独伊防共協定調印(11月) ・文部省教学局設置(12月)
					3	12	
				4	17	本校にて県下甲種商業学校長会議を開催	
				5	-	グラウンド2,000坪拡張 (生徒の勤労作業によりトラックと野球場を分離)	
6				5	草笛演奏会		
				10	全校生、高田市の交通調査		
				19	本校にて県下実業中等学校授業研究会を開催		
10				12	本校卒業生の出征軍人に対し武運長久祈願祭を举行		
				30	教育勅語奉読式		
11				10	国民精神週間につき詔書奉読式を举行		
				11	太原陥落祝典大提灯行列に参加		
12				2	藤井柔道教師死去		
	4	藤井柔道教師葬儀に全校職員・生徒参列					
	16	榊神社における南京陥落奉告祈願祭に全校職員生徒参列					
13	1938	4	30	第30連隊における合同慰霊祭に全校勝因生徒参列	<昭和13年> ・国家総動員法公布(4月)		
			6	20		本年3月卒業生寄贈の国旗掲揚塔竣工につき掲揚式举行	
			7	21		集団勤労作業実施 ～22日	
			9	17		満州事変記念上越中等・青年学校連合大演習に参加	
			10	23		本校にて県下商業学校実務大会を開催	

昭和			24	中根式速記講演会（講師：中根正世）	<p><昭和14年></p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休み集団勤労作業とする通達 産業報国運動 国民徴用令公布（7月） 		
			28	武漢三鎮完全攻略につき奉告祭及び武装行進に参列			
			11	11		文部省督学官修身科授業指導のため来校 勤労報国隊結成（3年以上農村手伝い、忠霊塔地ならし作業）	
			12	27		第27回卒業式	
	14	1939	1	17		道路除雪のため全校職員生徒勤労奉仕 ～18日 小林中佐、配属将校として着任	
			4	-		自校体操制定の通達	
			5	30		青少年学徒に下賜の勅語奉読式举行	
			7	2		全校妙高登山（この年より年中行事となる）	
				16		-	全校職員生徒、金谷山ジャンツェの修理工事に勤労奉仕～20日 木工実習場改築落成
			10	23		-	青年学徒に下賜の勅語拜戴記念式に校長以下職員全生徒参列 頑張り行軍実施（深夜出発、柏原まで／この後年中行事となる）
			11	4			生徒成績品展覧会並びに実習販売会 事変記念室に勇士等の遺品陳列 ～5日
	15	1940	1	1		紀元2,600年拝賀式举行	
			2	17		中南北支にて奮闘中の同窓各位に慰問袋60個発送	
			3	1		除雪作業の全校勤労奉仕	
				11			第24回卒業式
			5	6			高田駅通学団組織
				26			練兵場にてグライダー見学
			6	21			陸軍中将 井上一次講演会（東亜新秩序の建設と日満支親善）
				25			皇紀2,600年奉祝第1回校内弁論大会
			7	16			金谷山裏、向橋地内にて集団勤労製炭奉仕作業 ～8/20
			8	12			同窓戦死者各位へ盆提灯を贈る
			10	3			軍人援護に関する勅語奉読式
			11	2			紀元2,600年奉祝展覧会
				10			紀元2,600年式典、全国一斉に「天皇陛下万歳」奉唱 夜提灯行列に参加、記念に樫原神宮木若木を植樹
	28		皇紀2,600年奉祝第2回弁論大会				
16	1941	2	23	除雪の勤労作業			
		3	11	第25回卒業式			
		4	30	-	学徒報国団勤労隊旗樹立式 高田商工学徒報国団を組織し、作業科を新設		
		5	10		創立25周年記念式举行		
		6	3		体錬大運動会（手榴弾投げ・担架運搬競争・土壌運搬競争等）		
			30		新校長吉田正元就任		
				<p><昭和15年></p> <ul style="list-style-type: none"> 義務教育国庫負担法公布（3月） 文部省中等学校教科書の検定制を廃止（自由競争→指定制） 日独伊三国同盟成立（9月） 			
				<p><昭和16年></p> <ul style="list-style-type: none"> 大日本青少年団結式（1月） 国民学校令公布（3月） 高田中学校火災により校舎焼失（9月、12月の2回） 太平洋戦争開戦（12月） 			

昭	17	1942	11	2	生徒製作品並びに成績品展覧会	<p><昭和17年></p> <ul style="list-style-type: none"> 米軍機日本本土初空襲(4月) 県下新聞統合→新潟日報創刊 	
			12	9	宣戦の御詔勅拝読式		
			27		第26回卒業式(臨戦態勢即応のため各実業学校繰上げ卒業)		
			2	7	灰塚にて上越中等学校射撃競技会(本校5等)		
			4	30	県体操大会々場(旧騎兵隊跡)整地に勤労奉仕 ~5/4		
			10	-	学生発布70年記念式典挙行		
	18	1943	2	27	記念砲台跡にて戦技スキー訓練査閲(査問官:小野兵務部長)		<p><昭和18年></p> <ul style="list-style-type: none"> 中等学校改正令公布(1月) 高田師範学校→第二師範学校と改称(4月) 閣議で「学徒戦時動員体制確立要項」決定(6月) 文部省/学徒体育大会禁止(9月) イタリア無条件降伏(9月) 商業科の転換、閣議で決定教育に関する戦時非常措置(10月) 学徒兵入営(12月)
			3	9	学校後援会発足(生徒の学資・職員出張旅費等補助)		
			4	1	木材工芸科・建築科を設置(文部省告示第64号)工芸科募集停止(昭和20.3.31限り工芸科廃止、土木科増設要望は却下)		
			5	18	本校にて県下中等実業学校々長会開催		
			7	21	夏休み返上し、約20日間戦力増強増産協力の勤労夏の陣を展開。日曹・信越化学・田口工場で勤労奉仕のほか、海外訓練や武道錬成を実施		
			8	10	市内学徒草刈運動、お堀の真菰を刈る		
	19	1944	9	27	上越中等学校連合演習に参加		
			12	24	第28回甲種第2回卒業式、県の指導により「蛍の光」をやめて「海ゆかば」を歌う		
			1	-	緊急学徒動員労働員方策要綱を閣議決定防空法による疎開命令		
2			-	学校軍事教育強化要綱決定中等学校教科内容の戦時非常措置を決定			
3			7	閣議で「決戦非常措置要綱二基7学徒動員実施要綱」決定(学徒勤労働員は通年となる)			
4			1	戦時非常措置令により「新潟県立高田工業学校」と改称商業科を転科し、機械科・土木科を新設但し、商科3年生以上は商業科生として卒業させる			
5	11	学徒出陣式(3年生50名、特殊製鋼工場-日本ステンレスへ動員)					
20	1945	7	-	3年生、豊和重工業(株)(愛知県)へ動員、4年生は日曹二本木工場へ動員(終戦まで続く)			
		9	-	この年学園を勤労基地化すべしということで、校舎の一部を学校工場に転用			
		3	2	新校長茂野松次郎就任	<p><昭和20年></p> <ul style="list-style-type: none"> ヤルタ会談(2月) 		
18		国民学校初等科以外の授業を4月から1年間全面停止					

昭 和				29	甲種第23回、第24回卒業式（4年生繰上げ卒業）	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ無条件降伏（3月） ・戦時教育公布令（5月） ・日本ポツダム宣言受託、終戦(8/15) ・連合軍総司令部(GHQ)を設置 ・マッカーサー、学校教育の民主化を要求(武道を追放)(10月) ・GHQ農地改革を指令(12月) ・労働組合法公布（12月） 	
				8	1		B29、50機長岡市空襲
				6			広島に原爆投下
				9			長崎に原爆投下
				15			天皇「終戦」詔勅放送
				-			学徒勤労働員解除（学徒勤労働員は終戦時には全国で340万人に達し、全学徒の70%を占めた）
				9	25		米第27師団の将兵、高田に進駐
				-			敗戦により、軍事教練を廃止
				10	5		戦時教育令廃止
				-			学徒勤労働令・同施行規則廃止を公布